

けんこう応援通信

令和3年6月
Vol.22

人間ドックなどの健診で行う放射線検査についてご紹介します！

放射線検査には、胸部X線検査・胃X線検査・乳房撮影(マンモグラフィ)検査があり、X線による「被ばく」を伴いますが、「がん」や「心疾患」などの重大な病気を早期に見つけ出し、救命につなげることができる有益な検査です。

放射線による被ばくには大きく分けて「1.職業被ばく」「2.公衆被ばく」「3.医療被ばく」に分けられます。

病院や健診で受ける被ばくは「3.医療被ばく」にあたります。

令和元年度宮城県の死因TOP3

順位	死因
第1位	悪性新生物(がん)
第2位	心疾患
第3位	脳血管疾患



放射線検査の体への影響はどのくらいあるの？

各検査の被ばく線量

- 胸部X線検査 約 **0.06 mSv** (実効線量)
- 胃X線(バリウム)検査 約 **3 mSv** (実効線量)
- マンモグラフィ検査 約 **3 mGy** (平均乳腺線量) = **0.15mSv** (実効線量換算)



- ・実効線量(単位:Sv・mSv)は受けた放射線量による影響を体全体に換算したもの
- ・吸収線量(単位:Gy・mGv)は物質(組織)の受けた放射線量(エネルギー量)
- ・平均乳腺線量(単位:Gy・mGv)は皮下脂肪などを取り除いた乳腺の吸収線量の平均

放射線による身体への影響

- 放射線によって健康への影響を考えはじめる数値は **100mSv** とされていますが上記の通り、当センターで全ての検査を受けても **100mSv** を超えることはありません。
※検査はその「正当性」と「線量の最適化」を考慮して行われています。

自然被ばく(公衆被ばくに分類)

- 人は毎日の生活の中で空や大地そして食べ物など自然から一定の被ばくを受けています。
 - ・日本での自然被ばく **2.1 mSv /年**
 - ・ラムサール(イラン)での自然被ばく **平均 50 mSv /年**(最大値 **260mSv/年**にもなるこの地に住む人々の発がん罹患率に有意差は見られません)



健康維持のため定期的に
健診を受けましょう！



大崎市民病院 健康管理センター
TEL 0229-23-3471
FAX 0229-23-3472